

小さな命とつながる皆様へ

こんにちは。大西琢也と申します。

2008年から日本の東北地方にある福島県南会津町に住んでいます。
私の仕事は子ども達の根っこを育む野外教育です。
自然学校「NPO法人 森の遊学舎」を15年間運営しています。
2011年の震災後からは被災した子ども達が元気になるために、
事業の一環として「こめらの森・南会津」プロジェクトを継続しています。



ご存じのとおり日本で発生したM9の巨大地震「東日本大震災」では、揺れや津波による被害は甚大でした。これについて国内だけでなく海外の皆様からも多くのご心配やお気持ち、資金や機材、現地ボランティアなどを寄せていただき感動しました。本当にありがとうございます。

そして同時に、私は申し訳ない気持ちでいっぱいです。
以前から指摘されていたように、火山と地震の国でもある日本の大地で「核」による発電をする。この無謀かつ政治的な取り組みの結果。地雷のように埋め込まれた発電所という名の核兵器が大爆発。現在も約20万人以上の避難者が発生し、国内難民となっています。

帰るべき「ふるさと」を失い、人間だけでなく全ての命が還るべき「大地」から切り離されているのです。想像を絶する哀しみと分断が起きています。

その一方でこうして、つながり続けてくださる方々がいる。
子ども達だけでなく、私達にとっても大きな励みになっています。ありがとうございます。

この4年間で私は子ども達を支援するされるのではなく、本当は一緒に今を生きて創っているのだ。何かをしてあげるといふことではなく、むしろ私自身も何かさせてもらえる場をいただいているのだ。そんなことに気づきました。

3月に実施した春休みの保養キャンプ。
僅か数日間でしたが、失敗したり、初めてのことに出逢ったり、
スタッフも含めて「暮らし」や「遊び」の中から気づくことがたくさんありました。

最終日に6年生の女の子が語ってくれた言葉が心に響いています。

「雪がまだのこっていて、寒い南会津にやって来ました。まず、3泊4日ありがとうございました。こめらの森ではたくさんの経験をつむことができました。

味噌作りが楽しかった！みんなでご飯を作ったり、ドラム缶風呂を沸かしたり、みんなで一緒に寝たりと、現代の生活はどれほど幸せかということ学びました。

こめらの森に来て4年。今回で12回目になりましたが、まだまだ学ぶことがたくさんあります。たくさん来たから全てを知ってる。すべてわかる・・・。そういうのではなく、これはまだ知らないから教えてもらおう。やってみようと思う姿勢がどれほど大切かということも学びました。

次に友達のいることの大切さを学びました。いつもとなりに友達がいる。ということは当たり前ではないし、大切にしようと思います。

もうすぐ中学生です。残念ですが、部活動などで”こめら”にくることができません。でも高校生になったら今度はスタッフとして、こめらの森に帰って来たいです。もっともっと経験をつんで、大人になって帰ってこれたらいいなと思っています。

3泊4日お世話になりました。そしてありがとうございました。
みんなが元気でまた会える日を楽しみに笑顔で生きていきたいです。」

===

子ども達の未来は私達の未来でもあります。過去を教訓にして生きる。生かされる。そのことを忘れないでいたいと思います。

1945～1998年の間に世界中で2051回以上の核実験が行われました。そのうちの85%はアメリカと旧ソ連が占めています。およそ26%（528回）が、大気圏内核実験です。

それらに加えて、ヒロシマ、ナガサキ、ウイグル、シベリア、南太平洋、スリーマイル、チェルノブイリ、フクシマなどなど。既に日本が唯一の被爆国だとは言えません。地球のすべてに人工的な放射性物質が撒かれているのが現状です。

放射性物質に「汚染された」と言いますが、本来はもっと神聖で大切にされるべきものではないでしょうか。宇宙創造のスパンで営まれているものに手を出さないこと。大地や他の命と共に生きる道を選択すること。私はきっと可能だと思います。



放射性物質に国境はなく、命の営みにも国境はない。

地球の風が世界中の山々や町を巡る時、私達の呼吸も共有されているのだと思います。

同じ朝陽を見て、お月様を眺めている。

そのことを忘れず、つながりの中で生かされていきたいと思います。

震災から5回目の夏休みを前にしてプロジェクト継続に必要な
人手や資金が恒常的に不足しています。

こうした危機に瀕している中で、Fukushima Baby につながる皆様から
ご寄付をいただきました。心から感謝を申し上げます。

また ZenPlay の方々にもご尽力いただきました。本当にありがとうございます。

いただきましたご寄付は7月～8月に企画している子ども達の夏休みキャンプに活用させて
いただきます。私達のホームページや Facebook ページにて日々の活動を報告しています
ので、ぜひご覧いただけますようお願いいたします。

ステキな集いと皆様の想いが子ども達の笑顔につながっています。

境界線を越えて響きあっていきましょう！！

ありがとうございます。

2015年6月9日 新緑から初夏へ向かう南会津より

大西 琢也

〒967-0016 福島県南会津郡南会津町藤生字向坪 1261-1

NPO法人 森の遊学舎 代表理事 大西琢也

電話0241-66-3371 メール office@ugaku.com

森の遊学舎 (ホームページ) <http://ugaku.com>

こめらの森 (ホームページ) <http://r.goope.jp/minamiaizu/>

フェイスブック: <http://www.facebook.com/ugaku>



ご寄付いただき
本当にありがとうございます！
子どもたちが笑顔で夏休みや
その先をすごせるよう使わせていただきます。

【御礼のメッセージ】 Fukushima Baby 様からのご寄付 2015年6月9日 p. 3